

WHO-FIC 韓国会議報告について

主催	WHO, WHO-FIC 韓国協力センター（申請中）共催
開催期間	平成 21 年 10 月 10 日（土）～16 日（金）
会場	韓国ソウル市 韓国カトリック大学ソンシンキャンパス国際コンベンションセンター
参加者	WHO, WHO 協力センター、厚生・統計関係部局、オブザーバー等約 150 名

主な議題について

(1) 諮問委員会 (Council)

- 各グループ及び委員会の workplan の見直しを目的としたピア・レビューア－を WHO が指名した。
- iCAMP の報告
- 伝統医学に関する分類の追加を検討中。
- SnomedCT は、ICD とのリンケージに関してのみ無料で使用可能とする旨 IHTSDO と合意。
- 次回執行小委員会 (SEG) WHO-FIC 諮問会議 (council)、RSG、第 2 回 iCAMP は 2010 年 4 月に予定。
- 次年度 WHO-FIC 年次会議
2010 年 10 月 16 日～22 日 於：カナダ（トロント）
- 諮問会議議長選挙 (2010-2011)
Ms. Marjorie Greenberg と Dr. Stefanie Weber が選出。
- ポスターセッションの実施方法について意見交換

(2) 本会議

- 韓国の Health Information System について（プレゼンテーション）
- 円卓会議 I（ICD-11 α 版に向けて）
 - RSG のシュート議長による説明
 - iCAMP を通じてツールの実用性が改善。
 - 用語の不整合の問題、章ごとに異なる構造を採用するか等の問題
 - 少なくとも (1) α 版の具体的な形式の提示、(2) ワークフローと課題を確認、(3) TAG 以外の広範囲な対象者と情報交換をする等は実施。
 - ウースタン WHO 担当官による説明
 - Icamp において、iCAT の使用方法、コンテンツ・モデル、ワークフローなどの学習が目的で、合計 40 人（マネージング・エディター 12 人、分類専門官 10 人、コンピューター専門家 10 人、評価専門家 8 人）で活動。
 - 今後の予定として、2010 年 5 月に α 版が完成し、1 年間のフィードバックを受け付ける。同時に β 版を作成して、誰でもテストできるようにする。その後 2 年間のフィールド・テストを実施して、2013 年 9 月に一般公開用の最終版を作成。
 - iCAMP 参加者からのコメント
- ポスターセッション 1（ICD 及び ICF）
- ポスターセッション 2（プライマリケア）
- 円卓会議 II（プライマリケア）
 - WONCA 代表による基調講演
 - ICPC の歴史
 - プライマリケアにおける伝統医学の位置づけ
 - アジアパシフィックネットワーク会議における検討報告
 - ICD-11 で 1 つのユースケースとしてプライマリケアを検討